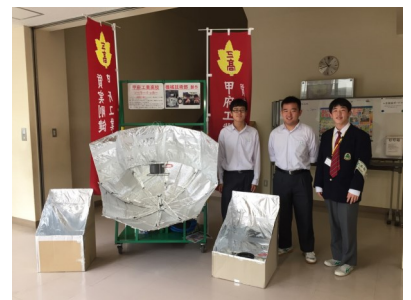


甲府工業高校SPHと韮崎高校SSHの初のコラボレーション！！

9月30日(日) 9:30~12:00 韮崎高校の科学きらきら祭りにおいて、本校SPHと韮崎高校SSHとのコラボレーションが初めて実現されました。本校からは機械科3年生2名、電子科3年生6名が参加しました。きらきら祭りは高校生が小中学生にもものづくりや科学の面白さを教える催し物です。小中学生は韮崎市と北杜市の全地域と甲斐市の一部の児童・生徒が来場し、小・中学生合わせ234名、保護者130名で過去最大の来場数でした。

機械科ではソーラークッカーを展示しました。無電化地域の途上国でも利用されています。当日は曇り空だったので実演する事は出来ませんでした。生徒たちは熱心に来場者に説明をしていました。

(M科生徒の感想)・・・今回のきらきら祭りで私たち機械科はソーラークッカーを展示しました。ソーラークッカーとは、太陽光を集め、その熱を利用して、ごはんを炊けたりします。今回の交流を通して、韮崎高校の生徒と意見交換することにより、私たちとは違った発想があり、とても良い刺激になりました。これからも、このような交流を積極的に行っていくべきだと思います。



電子科ではじゃんけんゲームとマインドストームのアクティビティを行いました。じゃんけんゲームはその名の通りコンピューターとジャンケンで対戦するという簡単なアクティビティでしたが生徒が盛り上げ、列ができるほど小学校低学年生に大変人気でした。

マインドストームはレゴブロックをコンピュータープログラムを利用して動かすアクティビティです。甲府工業生のアドバイスのもと小・中学生が実際にその場でプログラミングを行いました。自分のプログラムしたレゴが動いているのを見て大変興奮した様子でした。

(T科生徒の感想)・・・今回SSHの取り組みをしている韮崎高校様主催のきらきら祭りに参加させていただくことにより、良い経験ができました。こうしたSSHとSPHの交流を継続することで、より高度な技術・知識を修得できると確信でき、とても有意義な活動となったと感じました。

当日の忙しい中SPHの取り組みを見学参加してくれた韮崎高校生もいました。終わりの会では、「百人おどし」を体験しました。参加した高校生全員が手をつないで輪になり、一人の生徒が静電気のためたまったコップから静電気を触ると全員に静電気が伝わり、しびれる体験をしました。他校との交流がお互いの生徒たちの刺激になった一日でした。

なお、10月5日(金)発行の毎日新聞に関連記事が掲載されています。

